

「春の到来です」

リビングに差し込む朝日も日増しに暖かくなり、心浮き立つ季節となりました。今日は毎年恒例のお花見の日です。前日の雨も上がり降水確率も低いとの予報にほっとしたのも束の間、例年になく寒さが私たちに襲ってきます。みなさん厚手のジャンパーやコートで身を包み、冬物の帽子に毛布のひざ掛けといった防寒対策に余念がありません。十分な対策の後、すぐ近くの八白公園までご家族職員交えてぞろぞろと移動を開始します。聞こえてくるのは「寒いね」の言葉ばかり。それでも公園の桜と対面したときは「きれいねえ」の言葉に変わりました。8分咲きといったところでしょうか。枝の先までたっぷりと薄桃色の花びらで飾った桜のそばでパチリと一枚。その後お花見弁当を食べながら自己紹介で大いに盛り上がったのですが、時折吹く冷たい風に追い立てられるようにして帰ったのでした。



よほど寒かったのでしょうか。戻って開口一番「温かいものが飲みたい」との誰かの一言で、みんなでコーヒーを飲み、ホッと一息。「きれいかったけど寒かったな。死によった」とは最近入ったばかりの A さんの感想でした。しかし、この花冷えのおかげで桜はもう少し楽しめるとのこと。近いうちにぜひもう一度行きましょう。

後日談

あれから数日後、とある暖かい日にみなさんと八白公園に行きました。桜は盛りが過ぎ、そよ風に花びらが次々と連れ去られて緑色の葉っぱがちらほら見られようになっていましたが、散り際の桜もまた美しいものでした。「ええなあ。きれいなあ。でもこの前は寒くて死によった」と、Aさんの感想でした。

